物性評価

熱伝導率計

様々な形状の試料の熱伝導率測定に対応

- ▶ 様々な形状の試料を対象とする熱伝導率の測定
  （バルク固体、液体、粉体、発泡体、フィルム、繊維、複合材料、ペースト等）
- ▶ 温度や湿度を制御した条件下での熱伝導率測定が可能

装置概要

■ 機種：TPS3500S（京都電子）
■ 用途：各種材料の熱伝導率測定
（バルク固体、粉体、液体、フィルム材料等）
■ 仕様：方式　ホットディスク法
センサ　Φ4.0、Φ7.0、Φ13.0、Φ30.0 mm
測定範囲　0.005~500W/m·K
測定精度　±5%以内
再現性　±2%以内
温度範囲　0~50°C

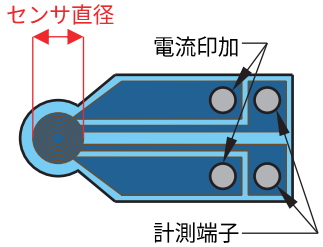


装置写真（熱伝導率計）

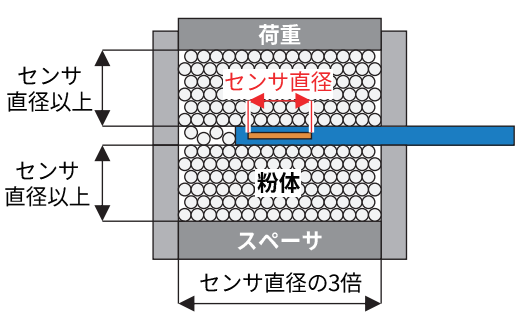
装置の特徴

■ ホットディスク法の採用により、様々な形状やサンプルの熱伝導率測定が可能
■ サンプルの大きさや対象測定範囲に合わせ、適切なホットディスクセンサを選択
■ 温度条件、湿度条件を制御して熱伝導率測定が可能なシステムを構築

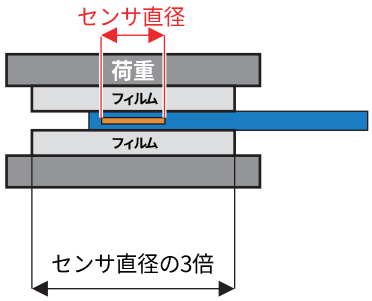
【ホットディスクセンサ】



【粉体測定】



【フィルム測定】



【担当者】
化学プロセス研究部門　分離材料研究グループ　河野 雄樹
連絡先：M-tohoku-nepp-ml@aist.go.jp

NEPP

産総研
ともに挑む。つぎを創る。